

JSUG テクニカル部会

Solution Manager研究WG

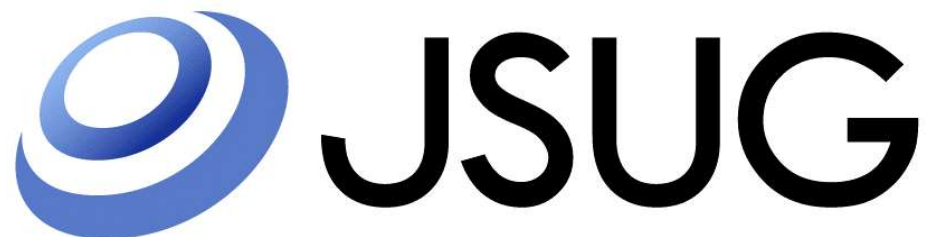
2011年 活動計画

2011/5/13

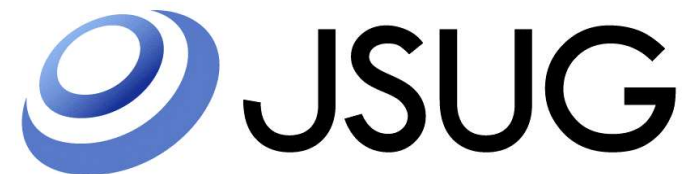
JSUGテクニカル部会 ソリューションマネージャー研究WG

日本アイ・ビー・エム株式会社
株式会社 NTTデータウェアブ
日本発条株式会社
SAPジャパン株式会社

土肥 晃
松井 憲司
鈴木 孝司
小野 文豊
山口 祐美子

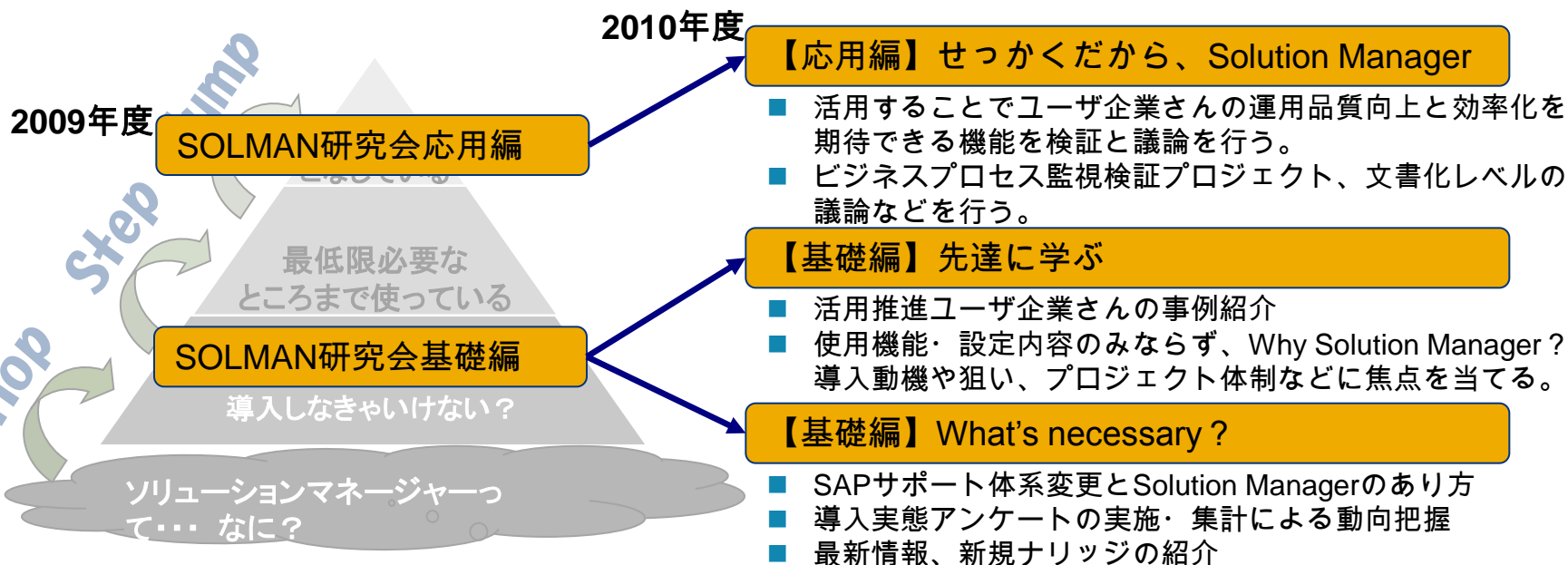


1. 2010年の活動
2. What worked well or not
3. 2011年活動方針



2010年の活動方針

- 2010年は昨年の活動を受け、「実態の把握と機能の実装に必要な知識」という草の根運動的な部分は引き続き行いながら、ユーザ事例の収集と発信を中心に、機能活用の検証を合わせて、「**Solution Managerを活用することで得られるメリット**」「**Solution Managerを導入・実装するためのロードマップ**」を見出すヒントを提供していきたい。
- **Enterprise Support**と**Standard Support**のようなサポート形態の変化については、テクニカル面の利用価値や使用機能、設定情報などを扱う。
- 各々の活動を最終的に10月のテクニカルフォーラムで成果発表を行う。



Worked well

- BPFonおよびCPS/JSM等、新たな機能の検証による開拓と情報の発信を行った。
- ユーザ事例の紹介により、Solution Manager活用についての議論を行った。
- SAP社から最新のリリース状況およびEGIサービスの紹介を行い、ユーザが独自に設定作業が行える情報提供を行った。
- 海外ユーザ会との交流を開始した。

did not

- ユーザ企業がSolution Managerを活用することでのメリットは、まだ数値化できていない。
- より多くの事例を発掘し、提供したかったが . . .

- **2010年は、ALM(Application Lifecycle Management)の観点からSolution Managerを紐解いていき、機能検証レベルを超えて、活用提案をし、ツールとしてのポテンシャルを明らかにした(奥が深く、すべてではないが・・・)。**
- **2010年度後半から、Solmanの活用を検討しはじめているという声を良く聞くようになったことからあらたなユーザ事例の収集と発信を、機能活用の検証を合わせて、「Solution Managerを活用することで得られるメリット」「Solution Managerを導入・実装するためのロードマップ」を見出すヒントを提供していきたい。**
- **2011年は、今年の活動の延長として、新機能、日本未リリース・未活用機能を紐解いていくことで、「実態の把握と機能の実装に必要な知識」という草の根運動を行いつつ、これまでの関連する活動結果の紹介も随時行い、ニューカマーに対するフォローを怠らず、密度の濃い内容にしていく。**
- **すべてのSAPソリューションは、Solution Managerに通じることから、他ワーキンググループ活動や海外のSIGとの情報交換、連携を密にし、部会活動を盛り上げていく。**

【基礎編】先達に学ぶ

- 活用推進ユーザ企業さんの事例紹介
- 使用機能・設定内容のみならず、Why Solution Manager? 導入動機や狙い、プロジェクト体制などに焦点を当てる。

【基礎編】What's necessary?

- 導入実態アンケートの実施・集計による動向把握
- 最新情報、新規ナリッジの紹介

【応用編】せっかくだから、Solution Manager

- 新バージョンのRamp-upを行い、バージョンアップ作業と新機能を検証し議論を行った結果をSAP、JSUG会員に報告する。
- 他ワーキンググループとの情報交換、共同検証を行う

- ようやく**Solution Manager**を必須機能以外で活用していこうという機運が徐々に出てきて、ベストプラクティス事例が求められている。
- 昨年に引き続き、既導入ユーザの協力を得て事例を発信する。特に社内稟議を行う際の理由付け、実際に投入したプロジェクト体制や工数などにスポットを当てる。
- 先駆企業＋全員参加型のパネルディスカッション的な試みも行い、**SAP**であるが故の共通の話題でユーザ同士の交流を深める。

活動形態	■ WGでのプレゼンテーション		
活動スケジュール	継続的に	リーダー陣	✓講演ユーザー企業さん調整
	4月	SOLMAN研究WG #1	✓ユーザ事例 #1 (EUEM or DVM) ← 中止
	6月	SOLMAN研究WG #2	✓ユーザ事例 #2 (インシデント・変更管理?)
	12月	部会	✓ユーザ事例 #3 (アップグレード事例?)
参画メンバー	<ul style="list-style-type: none"> ■ Solution Manager研究WG全参画ユーザ ■ テーマによっては全JSUGさらには制限を設けない発信 		
監修・講師	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体監修：SAP Japanさん ■ 講師：ユーザ企業さん 		

- EGIサービスにより、初期設定までは、SAP AGSでフォローできる体制になったが、実運用に載せるための敷居は以前として高いため、どうしたらサービスインにこぎつけるかの情報・事例が必要。
- 2011年は、7.1へのバージョンアップがあり、さらなるカスタマサポートプログラム(セルフサービス)が強化される(との情報)。継続的にSAPさんとタイアップし情報発信していく。
- サポート形態のビジネス価値などの話題は、今年もJSUG横断的Influence活動で扱われると思われる。WGではSolution Manager使用形態などテクニカル面にフォーカスして扱う。

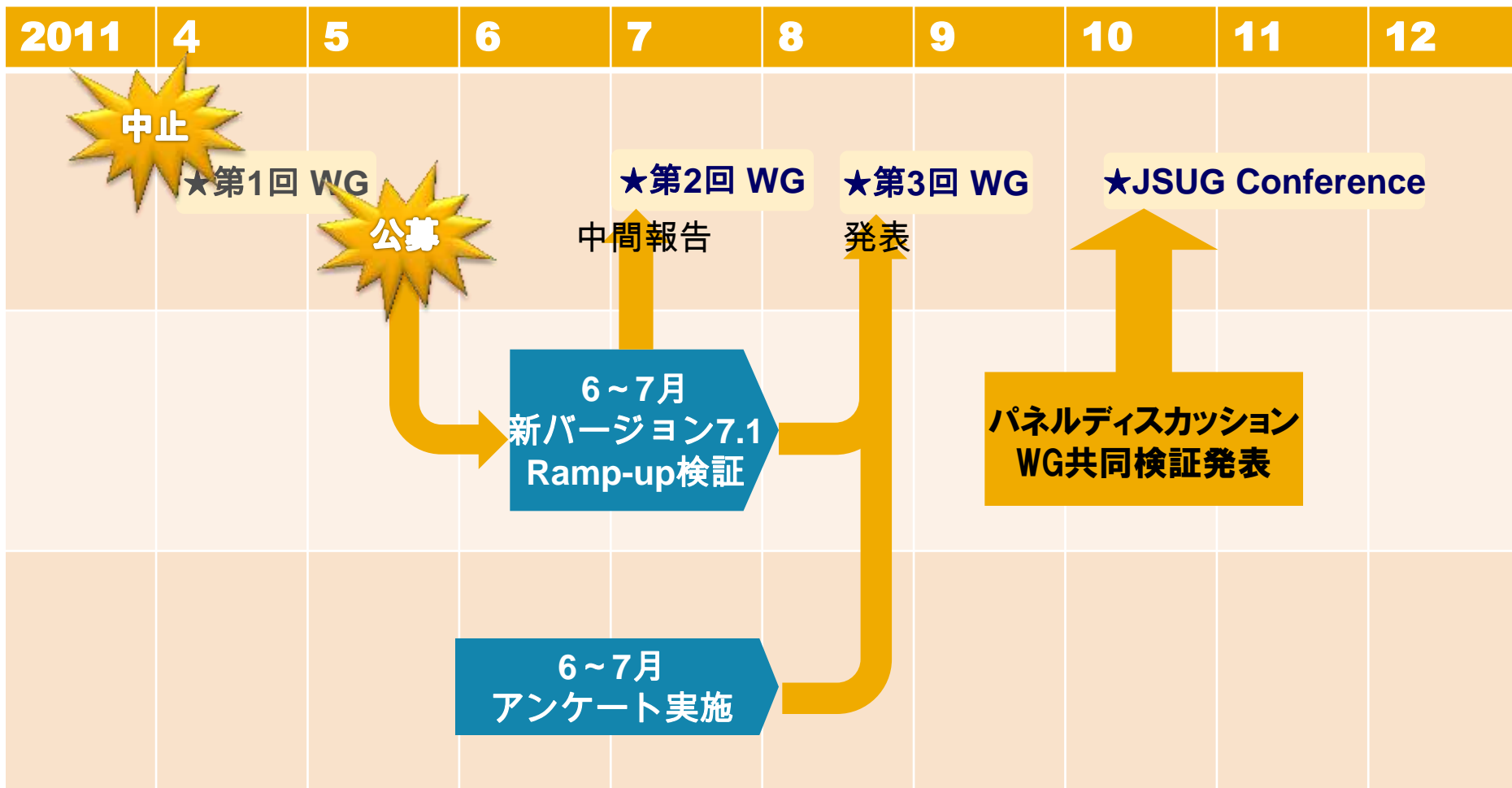
活動形態	■ 研究会でのプレゼンテーション及びメーリングリストでの発信												
活動スケジュール	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="529 715 683 793">4月</td> <td data-bbox="683 715 1051 793">SOLMAN研究WG #1</td> <td data-bbox="1051 715 1818 793">✓導入・活用シナリオ ← 中止</td> </tr> <tr> <td data-bbox="529 793 683 858">6月</td> <td data-bbox="683 793 1051 858">SOLMAN研究WG #2</td> <td data-bbox="1051 793 1818 858">✓SP26情報</td> </tr> <tr> <td data-bbox="529 858 683 922">6~7月</td> <td data-bbox="683 858 1051 922">リーダ陣Internal</td> <td data-bbox="1051 858 1818 922">✓アンケートの発信、収集</td> </tr> <tr> <td data-bbox="529 922 683 1039">8月</td> <td data-bbox="683 922 1051 1039">SOLMAN研究WG #3</td> <td data-bbox="1051 922 1818 1039">✓アンケート結果の共有 ✓新規情報発信(あれば)</td> </tr> </table>	4月	SOLMAN研究WG #1	✓導入・活用シナリオ ← 中止	6月	SOLMAN研究WG #2	✓SP26情報	6~7月	リーダ陣Internal	✓アンケートの発信、収集	8月	SOLMAN研究WG #3	✓アンケート結果の共有 ✓新規情報発信(あれば)
4月	SOLMAN研究WG #1	✓導入・活用シナリオ ← 中止											
6月	SOLMAN研究WG #2	✓SP26情報											
6~7月	リーダ陣Internal	✓アンケートの発信、収集											
8月	SOLMAN研究WG #3	✓アンケート結果の共有 ✓新規情報発信(あれば)											
参画メンバー	<ul style="list-style-type: none"> ■ Solution Manager研究WG全参画ユーザ ■ テーマによっては全JSUGさらには制限を設けない発信 												
監修・講師	■ 全体監修:SAP Japanさん												

- 2010年はBPMon、JSM/CPSをユーザ、パートナ、SAP三位一体の検証プロジェクトを行い、具体的活用提案を発信し、Solution Managerの持っているポテンシャル・方向性が明らかになった。
- それら機能の分析と検証を通じ、Solution Managerを活用する未来像へのヒントを提供する。
- SAP Japanと共同で新バージョン7.1 Ramp-up検証プロジェクトをフォローし、参画募集、中間報告などを実施していく。
- 維持運用フレームワーク(品質管理、投資、事業継続)とRun SAP、Solution Manager機能との関連といった、思想的なことも再度紐解くことを考える。

活動形態	■ WGでの発表・議論と、検証プロジェクトとしての独立した活動		
活動スケジュール	3月	リーダ陣Internal MTG	✓検証プロジェクト計画立案
	4月	SOLMAN研究WG #1	✓検証プロジェクト紹介 ✓参画募集 ← 中止
	4~9月	検証プロジェクト	✓6月:環境構築、知識の共有、シナリオの定義 ✓6~7月:シナリオ検証の実施 ✓8月 :まとめ
	6月、8月	SOLMAN研究WG #2、#3	✓中間報告 ✓運用フレームワークとの関連 ✓検証プロジェクト報告
参画メンバー	■ ユーザ企業さん(検証はテーマに興味のある企業、数名~10名程度?)		
監修・講師	■ 全体監修:SAP Japanさん		

2011年の活動の流れ

- 昨年同様、事例や最新情報を提供するWGの開催と並行し、検証プロジェクトを実施してその成果を8月以降公開・周知する活動を行う。



ご清聴ありがとうございました。

